

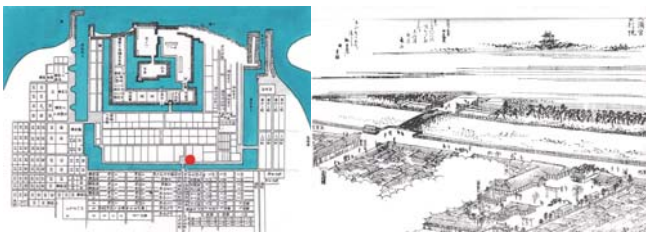
# 城下町の歴史ある街角に現代の厩をつくりました



高松市丸亀町は地方都市の中心市街地活性化の先進的なモデルとして全国的に着目されています。この駐車場は丸亀町の再開発の第一陣となるA街区再開発施設建築物の隔地駐車場として、商店街の北側の入り口部分の三越に隣接して建設されました。敷地は、高松城（玉藻城）の大手筋の要となる部分で場内に入る常盤橋の橋詰、かつて厩が位置していた場所でもあります。城下町の歴史ある街角にある、人々に親しまれる「現代の厩」をつくりました。



本駐車場は城とまちの接点、大手筋の橋詰に位置しています。コーナーを伝統的な入り隅の手法で構成することで、武者窓を髭髷させる縦ルーバーを用いることで歴史的な環境に相応しい表現としました。



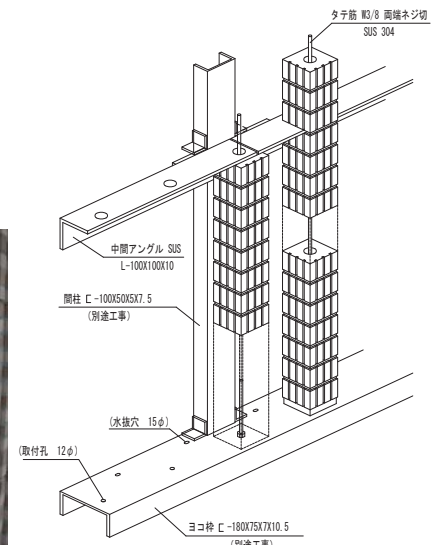
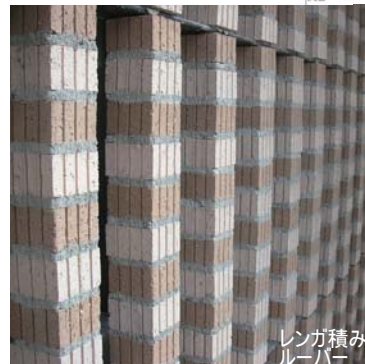
城と城の接点、大手筋の常盤橋の橋詰という歴史ある街角に位置し、かつてこの敷地に厩がありました。



丸亀町壱番街駐車場  
 所在地／香川県高松市  
 建築主／丸亀町壱番街再開発組合  
 敷地面積／1,725.77㎡  
 工事種別／新築  
 用途／駐車場(223台)、店舗  
 主要構造／鉄骨造(一部SRC造)  
 地上6階  
 最高高さ／24.06m  
 建築面積／1,397.71㎡  
 延べ面積／7,461.46㎡  
 竣工／平成18年10月  
 OPEN／平成18年11月



レンガを現場で積み、手づくりのイメージを外観に表現しました。本来は重厚な壁を作るレンガでルーバーを造るという意外性も意図しました。レンガ単体は普及品ですが表面をスクラッチすることで既製品とは違った深みのある表情をつくり出しました。レンガルーバーの間は大きく開いているため「実施工面積」は少なく低コストが実現できました。レンガによるルーバーは類例がないため有限要素法による解析を行うとともに、原寸のモックアップ模型を作成し、安全性施工性を十分に検討しました。



2006.NOVEMBER

# NEWS LETTER